

様式第5号（第15条関係）

審議会会議録

審議会等の名称	令和7年度 瑞穂市総合計画等評価審議会
開催日時	令和7年9月4日（木曜日） 午後6時00分から8時00分まで
開催場所	ココロかさなるCCNセンター 第4会議室
議題	「瑞穂市第2次総合計画」「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもとづく事業評価（令和6年度実施分について）
出席委員 欠席委員	<p>出席委員 15名 曽我部雄樹会長、溝川哲哉副会長、赤尾達也委員、新井正信委員、泉浩資委員、大平高司委員、川端光昭委員、久富和浩委員、林鉄雄委員、戸田一文委員、中林由紀子委員、成瀬幸太郎委員、廣瀬啓司委員、松原哲委員、若曾根明仁委員</p> <p>欠席委員 5名 宇野秀一委員、甲田純子委員、山川昌宏委員、竹林成熙委員、馬渕晃委員</p>
公開・非公開の区分 (非公開理由)	公 開 · 非 公 開
傍聴人数	0人
審議の概要	<p>開 会</p> <p>市長あいさつ</p> <p>会議成立の宣言</p> <p>【事務局】</p> <p>本会議について瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条の規定により原則公開すること、また、同要綱第12条の規定により当該審議会の傍聴を希望する者に傍聴を認めることを各委員に確認し了承を得た。</p> <p>委員総数20名に対し過半数を超える出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項の規定に基づき会議が成立していることを宣言した。</p>

諮詢

【市長】

「瑞穂市第2次総合計画」に基づく事業評価（令和6年度実施分）について、及び「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業評価（令和6年度実施分）について諮詢した。

議事「瑞穂市第2次総合計画」、「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和6年度実績の評価について

【曾我部会長】

事務局に対し評価方法の説明を求めた。

【事務局】

評価の方法について説明を行った。

【曾我部会長】

令和6年度に実施した事業について順に担当課に説明を求めた。

「公共施設等の適正管理」について

【曾我部会長】

「公共施設等の適正管理」について担当課に説明を求めた。

【財務情報課】

事業実績評価を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【委員】

公共施設の適正管理は新庁舎のことだけなのか。令和6年度新庁舎建設基本計画の策定及び他計画の調整の繰り越し分と令和6年度分の違いは何か。

【財務情報課】

新庁舎だけのことではなく、施設全体のことだが、予算規模でいうと新庁舎検討の部分が大きくなる。実際には検討委員会において審議は続いているが、いったん年度で区切りをつけたもの。

【委員】

目標指標が6年度は0.89というのは、この計画の中で縮減できたということなのか、この縮減は前年度に対しての縮減比なのか。

【財務情報課】

平成27年度末の実績に対してどのくらい縮減ができたかの数字になっている。

【委員】

新庁舎検討委員会が1年4か月行われたが、市民へのフィードバックはどのくらいされているのか。

【財務情報課】

市民の皆様にお示しできる情報が乏しく、お出しできるものはなかった。ご理解賜りたい。

【曾我部会長】

「公共施設等の適正管理」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった11票、有効とは言えない3票、として答申する。

「瑞穂市中山道団子化構想事業」について

【曾我部会長】

「瑞穂市中山道団子化構想事業」について担当課に説明を求めた。

【生涯学習課】

事業実績評価等の資料を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【委員】

目標指標の3つ目のバス乗客数は増加数ということでよろしいか。増加数を目標設定にした根拠、背景はあるのか。どこを基準とした増加数なのか。令和7年の目標値は達成可能目標なのか。

【生涯学習課】

増加数になる。十九条古橋線。穂積駅起点に中山道を通って呂久の方に行くバスになる。令和4年がスタートになる。令和3年から4年にかけて4,865人増えたことになっている。令和7年の最終目標は15,300人、4か年の合計値。最終的には呂久地域に足を運んでいただきたいということから、この目標を指標として入れた。

【委員】

中山道団子化構想において、大月はサンコーパレットパークなど集客できている。美江寺と呂久はどのような取り組みをしているのか。

【生涯学習課】

令和7年度は呂久地域にスポットを当てて盛り上げたい。委員が言われる通り、新しいものだけではなく、もともとある文化財など、市民の皆さんに知っていただくようなイベントを企画している。まちづくり推進委員会の社会実験として、美江寺、呂久への賑わいの効果を期待して、大月を起点に呂久地域へのウォーキングイベント、3つの中山道をつなぐ拠点を一本化できるように考えている。また令和8年度から導入を検討している指定管理者とも連携する中でさらなる賑わいの創出を考えている。

【委員】

これは対市民向けの施策という位置づけのものか。

【生涯学習課】

市民への施策もあるが、当該地域の魅力や認知度を高め、ブランド化を図っていくことで市民だけではなく、市外からの交流人口を増やす目的として考えているため、両面での施策になる。

【曾我部会長】

「中山道団子化構想」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった14票、有効とは言えない1票、として答申する。

「圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について
【曾我部会長】

「圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について担当課に説明を求めた。

【総合政策課】

事業実績評価等の資料を用い実施した事業について説明を行つた。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【委員】

駅周辺の店舗や新庁舎も含めて、ハード面の工夫や一過性の集客だけではない構想はあるのか。

【総合政策課】

新庁舎ができた際には、旧庁舎の在り方についても検討が必要。それをどのように活用するのか、担当課で都市計画のマスタープランの中で、駅前を含めた周辺の計画を考えており、庁舎を含め、トータル的に計画をしている。

【委員】

新規出店数はどこの場所の出店か。

【総合政策課】

穂積駅周辺とはいっても、穂積駅圏域拠点化構想は範囲が広い。実績としては、昨年度であれば駅内のベルマートやおにぎり屋さんをカウントしている。

【曾我部会長】

「圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった15票、有効とは言えない0票、として答申する。

「広域行政の推進」について

【曾我部会長】

「広域行政の推進」について担当課に説明を求めた。

【総合政策課】

事業実績評価等の資料を用い実施した事業について説明を行つた。

	<p>【委員】 こちらは岐阜地域や圏域ということであるが、大垣市やその周辺市町との取り組みはあるのか。</p> <p>【総合政策課】 西濃地区は大垣市を中心に連携を行っている。ある程度核となる市があり、その市を中心に取り組みを行っている。</p> <p>【委員】 質問ではなく意見として、新しく入てくる市民の方は、このような広域の面を持っている。岐阜、大垣の施設やサービスを利用できる。こういった連携を深めていくことは大変意義のあること。今後もより一層連携を深めてほしい。</p> <p>【曾我部会長】 「瑞穂市中山道団子化構想事業」について委員に評価結果の挙手を求めた。</p> <p>→有効であった15票、有効とは言えない0票、として答申する。</p> <p>「総合計画の進行管理」について</p> <p>【曾我部会長】 「総合計画の進行管理」について担当課に説明を求めた。</p> <p>【総合政策課】 事業実績評価等の資料を用い実施した事業について説明を行った。</p> <p>【委員】 KPIの進捗率については、低い担当課についてどのようにフォローをされているのか。</p> <p>【総合政策課】 各課で数字の把握はしてもらっているが、現状数字の把握に留まっている。</p> <p>【委員】 担当課の意見を集約して、把握しているのにもったいない感じる。</p> <p>【総合政策課】 現状、そこまでたどり着いていないと考える。</p>
--	---

	<p>【委員】 全事業の評価は外部評価を含めて1回でもいいかとは思うが、内部評価も年1回なのか。また進捗管理も年1回なのか。</p> <p>【総合政策課】 どちらも年1回となる。シートを作つて見直すタイミングは年1回となる。</p> <p>【委員】 評価結果については過年度の結果についてのコメントとなるため、目標値も含めて整理されるとよいと考える。</p> <p>【曾我部会長】 「総合計画の進行管理」について委員に評価結果の挙手を求めた。</p> <p>→有効であった13票、有効とは言えない2票、として答申する。</p> <p>その他議事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長への答申について ・連絡事項 <p>閉会</p>
事務局 (担当課)	瑞穂市 企画部 総合政策課 TEL : 058-327-4128 FAX : 058-327-4103 e-mail : sougou@city.mizuho.lg.jp